

近藤 正美 議員

高齢者の雇用促進は

問 これまでのタスカルネットワークの運用成果はどうか。

答 平成29年度から本年2月までの取り組み実績は、職場見学会は延べ75回開催され、延べ311人の参加、就労者数は延べ79人という状況である。今後も労使双方のニーズに合ったマッチングを支援することで進んでいきたい。

大規模広域災害への対応は

問 大規模災害を想定した県や近隣市町との連携はどうか。

答 県が設置している水位計やライブカメラの情報を、県ホームページのサイボスリーダーという名称のサイトで確認し、県管理河川の水位情報や太田川ダム情報などはFAXやホットラインで市に提供され、情報共有している。



袋井消防庁舎・袋井市防災センター

地域活動への支援は

問 モデル事業となる浅羽・笠原地区の「地域の助け合い活動」をどう支援するか。

答 活動に参加する人の保険加入や相談員・支援員に対する研修会、講習会の開催など地域の助け合い活動が円滑にスタートすることができるよう、特色ある地域づくり交付金の交付など必要な支援を行っていきたい。

竹野 昇 議員

土橋の水田埋め立てに疑問

問 土橋工業用地造成計画では、周りよりも高い埋め立て計画が示され、住民の中には雨水が道路や住宅地に溢れることを心配する人が出ている。住民の心配をどう考えているか。

答 約1万4000立方メートルの調整池を整備し、そこにためた水を、時間をかけて放流し、大雨時に急激に河川を増水させることを防ぐ計画とするために、調整池を造ることにより現況の水田よりも治水安全度は、向上すると考えている。

問 蟹田川下流の木原地区への大雨時の影響はないのか。

答 調整池の整備によって、木原地区など蟹田川下流への影響はほとんどないものと考えている。



埋め立て計画が示されている土橋の水田

待機児童問題

問 市長・教育長は、令和2年度も待機児童が出ることへの責任を感じているか。

答 保育ニーズの高まりが予測される中で、保育施設の整備、定員の確保に努めてきたが、保育ニーズの増加量とそのスピードについての見通しが十分でなかった点は責任を感じ、重く受け止めている。